

発注企業動向調査結果

-2014.2-

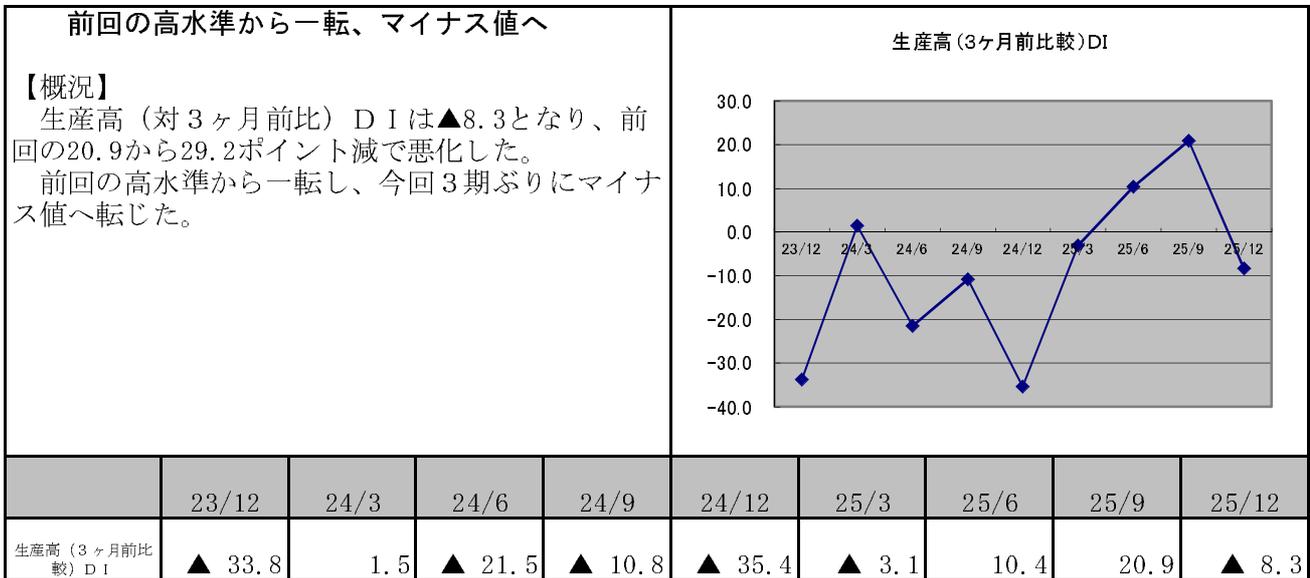
- 調査時点 平成26年1月調査（平成25年12月末時点）
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎（3、6、9、12月末時点）
- 回答企業 60社（回答率：40.0%）

<業種内訳>

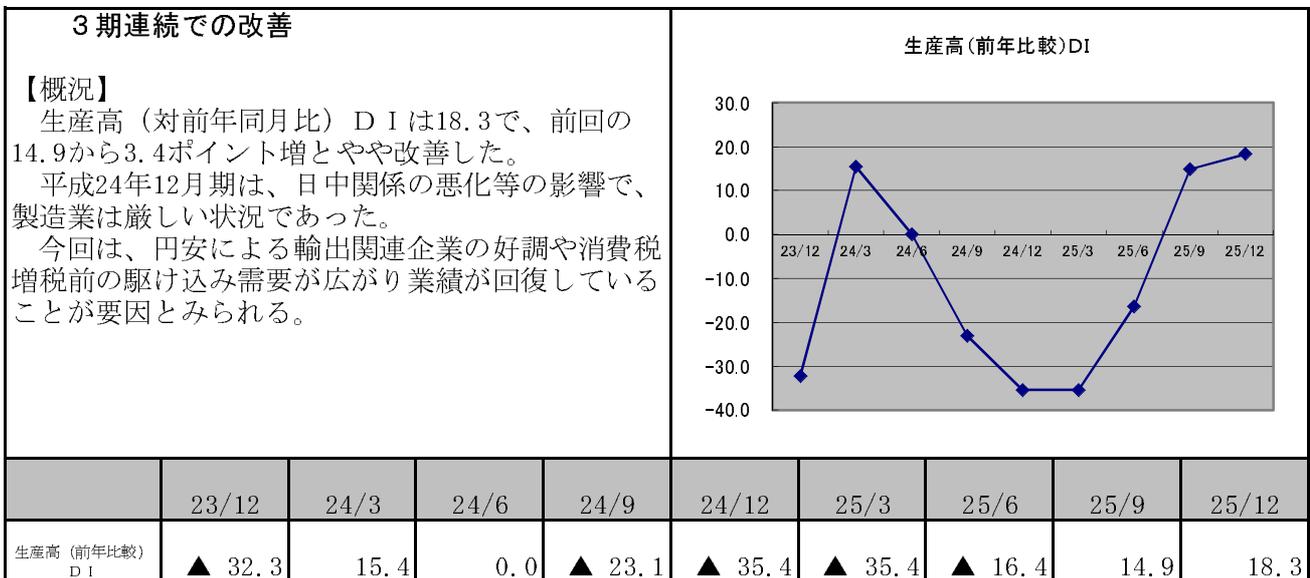
プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	4社
一般機械器具	14社
電気機器	13社
輸送用機器	6社
精密機器	2社
縫製	4社
計	60社

DI (Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

生産高（対3ヶ月前比）DI



生産高（対前年同月比）DI



3ヶ月先業況見通しDI

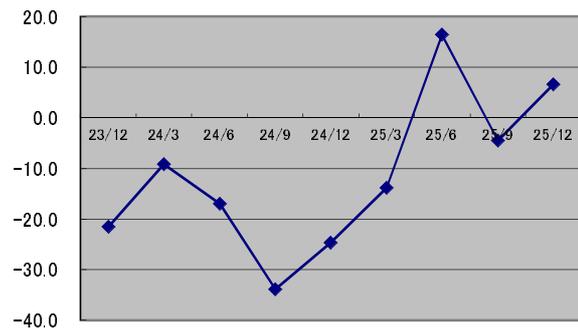
2期ぶりにプラス値へ

【概況】

3ヶ月先見通しDIは6.7となり、前回の▲4.5から11.2ポイント増と改善した。

前回マイナス値へ転落したが、今回再びプラス値へ転じた。改善はしたものの、消費税増税が行われる4月以降の見通しを懸念する声も聞かれた。

3ヶ月先見通しDI



	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12
3ヶ月先見通しDI	▲ 21.5	▲ 9.2	▲ 16.9	▲ 33.8	▲ 24.6	▲ 13.8	16.4	▲ 4.5	6.7

発注企業の外注見通しDI

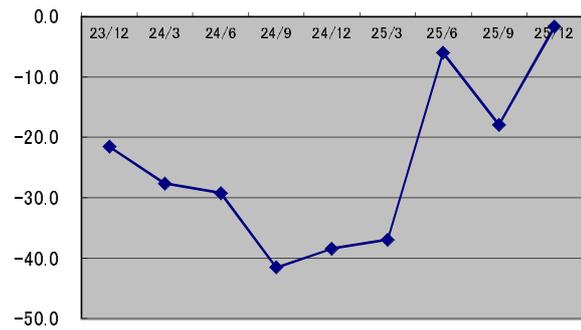
過去2年間で最高値を記録

【概況】

外注見通しDIは▲1.7となり、前回の▲17.9から16.2ポイント増と改善した。

円安及び消費税増税前の駆け込み需要の影響で国内生産が好調であることが要因とみられる。

外注見通しDI



	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12
外注見通しDI	▲ 21.5	▲ 27.7	▲ 29.2	▲ 41.5	▲ 38.5	▲ 36.9	▲ 6.0	▲ 17.9	▲ 1.7